

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for project name, category, budget items, and fiscal year. Includes details for '高齢者学級事業' and '青少年の健全育成'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes implementation details for fiscal year 30.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Shows performance metrics for activities like '学習会等開催回数' and '学習を通して、毎日元気に過ごしてもらう'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume and costs. Columns include fiscal year (29, 30, 01), unit, and total input. Includes sub-categories like '国庫支出金', '事業費計(A)', and '正規職員従事人数'.

Table comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円). Lists items like '08 報償費', '09 旅費', and '14 使用料及び賃借料'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content. Columns: 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. Includes a note about entering content by fiscal year and a list of main activities.

事務事業名	高齢者学級事業	事務事業No.	20303000609	所属課	生涯学習課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
高齢者が生きがいを持って豊かな生活をするために、昭和40年ごろに始まったと思われる。学級開始当時の対象者は60歳以上であったが、現在は65歳以上を対象としている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
学級生(対象者)には、陶芸や移動教室が大変好評である。しかし、社会福祉協議会においても高齢者を対象とした事業を開催しており、対象者の中には異なる二つの事業を混同してしまっている方も見受けられる。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	高齢福祉課では高齢者を対象とした事業を社会福祉協議会により補助金で行っているらしい。事業内容が同じようであれば、参加者が混同しないためにもひとつにまとめられるよう検討が必要である。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の生涯学習・芸術文化活動の充実に結びついている
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 高齢者が生きがいを持って生活することにより、健康増進に繋がる
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現在、真壁地区のみを対象地域としているが、市内の高齢者を対象とすることにより、参加者の増加に繋がる
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者が生きがいを感じて生活するための学習の機会がなくなってしまう
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 社会福祉協議会「生き生きサロン」
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 高齢福祉課から事業委託をしている社会福祉協議会の事業との統合を視野に検討していくべきである
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 移動学習等は、参加者より参加費用を徴収しているが、社会教育指導員の随行は必要となるため人件費の削減の余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象者が真壁地区に限定されているため、市内全域の高齢者を対象とした事業展開をしていくべきであると考え

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	高齢者学級は好評であるが、対象が真壁地区のみとされている。市内の高齢者を対象とするか、社会福祉協議会の事業とするか検討が必要である																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
高齢者学級の申し込み受付が226名ですが、実施日ごとに参加人数が異なるため、積極的に参加していただくことを検討する。 学習内容の体育・スポーツに関することでは輪投げ大会を実施しました。体を動かした方が良いとのご意見もいただきました。輪投げの得点を集計するのも大変でしたので、方法を検討したほうが良いと思います。レクリエーションと高齢者の役割・生きがいに関することは学習課題にはありませんでしたが、各回でのお話や取組があったと思いますので、今後は検討していただきたいと思います。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9 コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>